

2019年度に賛助会員としてご入会いただいた企業・団体

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

MS&AD

当社は、MS&ADインシュアランスグループ員の生命保険会社です。

三井住友海上プライマリー生命

2002年に営業を開始して以来、お客様から信頼され選ばれる会社を目指して、金融機関窓販とともに歩んでまいりました。その間、お客様の多様なニーズにお応えするため、他社に先駆けた保険商品・サービスの開発、提供に努めてまいりました。今後、NACS賛助会員として、引き続きお客様の声を真摯に受け止め、お客様の視点に立った業務運営を推進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

ミサワホーム株式会社

MISAWA

当社では、「住まいを通じて生涯のつきあい」の精神のもと、ミサワホームをお建ていただいたオーナーさまのCS向上に努めています。オーナーさま向け専用Webサイトである「ミサワオーナーズクラブ」の運用や、ワンストップ窓口としての「住まいるりんぐDesk」による24時間365日サポート体制を整え、昨年度には企業情報化協会より、カスタマーサポート表彰最優秀賞をいただきました。NACS賛助会員として今後も良質の住まいを提供し、豊かな社会づくりに貢献したいと考えております。宜しくお願ひいたします。

この話、信用していいの？もうけ話、怪しい勧誘・広告 なんでも110番 ～マルチ商法、情報商材、副業紹介などなど～ 10月19日(土)、20日(日)実施



2日間の相談受付件数は、東京・大阪合計で59件でした。

相談内容は、「ネットで『身の上話を聞くだけで儲かる』という広告を見て、登録料17万円を払ったが儲からない(女性)」、「簡単に儲かるというネット広告を見て、FX取引の自動売買ソフトを30万円で購入したが、全く儲からない(20代男性)」など、消費者が怪しい勧誘やネット広告により契約し、全く儲からないで困惑しているという相談が多数寄せられました。また、「お試し無料の健康食品を頼んだだけなのに、数か月分で数万円の商品が送られてきた」「顔の皺がピーンと伸びる」と書かれたネット広告をみて申し込んだ高額なクリーム、全く効果がないのに定期購入で解約できないなどの相談も複数寄せられました。いずれも、スマホなどで画面の見にくい広告・表示を誤認して契約したものでした。

さらに、水道の漏水や鍵の修理など緊急を要する契約では、ネットに大きく表示されている少額の代金だと思っていたが、高額請求をされ困惑したという相談もありました。

新たな消費者トラブルが起きたたびに、景品表示法、特定商取引法、消費者契約法などが改正されましたが、まだまだ十分とは言えません。今後は、110番に寄せられた相談内容を精査分析し、各機関への要望・提言も含め、2020年1月に報告書を公表する予定です。



消費者庁よりご来訪いただきました

11月5日、消費者庁の日下部英紀総務課長、神田哲也消費者制度企画官にNACS事務所を訪問いただき、河上会長・永沢副会長・南條理事等と意見交換を行いました。

日頃より消費者庁とは多くの接点をもつNACSですが、会議等公式の場ではなく、事務所での和やかな雰囲気のなかお話しできる機会は貴重であり、話題は多方面に及びました。

消費者庁の皆様からは、日ごろどのような業務を担当されているかや、消費者行政新未来創造オフィス(来年度からは「消費者庁新未来創造戦略本部」)が徳島県で進める社会実験等の取組み、公益通報者保護法改正、10年を迎えた消費者庁の今後等につき、お話を伺いました。



左から南條理事、永沢副会長、河上会長、
日下部課長、大道会員(相談室)、神田企画官

NACSからは、河上会長が「国民の安全な生活環境を脅かす昨今の自然災害への対策は、消費者問題として捉えるべき」、「適格消費者団体は手弁当で活動している実態であり、課徴金をその活動に充てられないか」と提言。またNACSが独自のいややんバッジを作成して188の普及に協力をしていることや、実際に188からの入電が増えているとの相談員の声も披露しました。

このような意見交換の場を持つことは、NACSが消費者と行政の橋渡しという役割を果たすうえで、たいへん有意義なことと実感しました。

i インフォメーション

【1月公開講座のお知らせ】 詳細は<http://nacs.or.jp/oshirase/>をご確認ください。

NACS消費者相談室(生命保険文化センターとの共催)

●「人生100年時代～60歳、70歳からどう備える?」【1月16日(木) 東京渋谷区全國婦人会館】

NACS西日本支部

●知ってなっとく!「消費者市民社会」【1月18日(土) 徳島市四国大学交流プラザ】

●情報リテイラーとしての劇場型百貨店とは?【1月18日(土) 大阪市ドーンセンター】

●「脱使い捨てプラス、なぜ、どのように進めるか」【1月25日(土) 大阪市立総合生涯学習センター】

編集後記

5年前の初日の出をサハラ砂漠で迎えました。何万年も変わらず続いてきた自然の中にたくさんの白いレジ袋が朽ちずに残っていました。私たちにできること、あると思います。(永沢)

エコプロ展2019に行ってきました。企業や団体がSDGsの口号を用いて取り組みを展示するブースが増えました。課題の解決に向けて提案から実践へ結びつけたいと思いました。(加藤)

9月に入会し広報委員会で活動をさせて頂いています。素敵なメンバーに巡り会えたことに感激していますが、毎日メールが次々と届き、広報委員会が激務なところだと分かり、ちょっと不安を感じています。(坂本)